

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



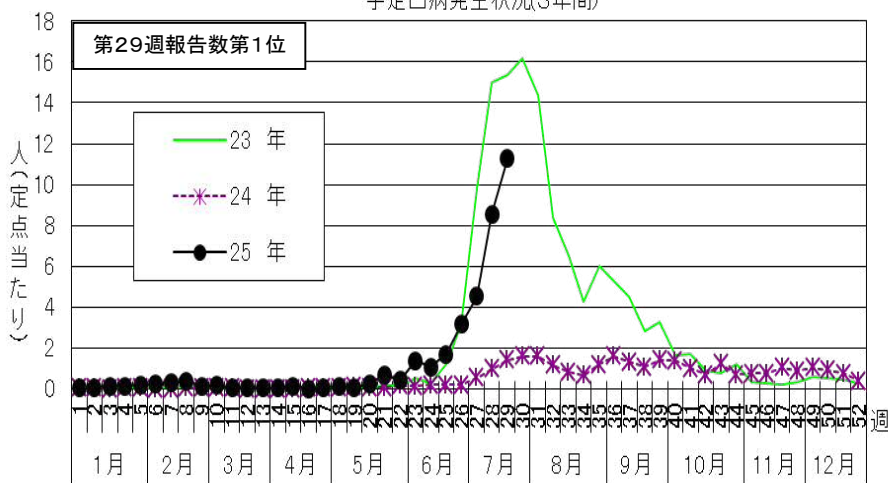
KAWASAKI CITY



平成25年7月15日（月）～7月21日（日）〔平成25年第29週〕の感染症発生状況

第29週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナ でした。
 手足口病は定点当たり11.27人と前週（8.55）より患者報告数は大きく増加し、流行発生警報基準値（定点当たり5人）を超え、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎は定点当たり3.61人と前週（4.36）より患者報告数は減少し、例年よりやや低いレベルで推移しています。
 ヘルパンギーナは定点当たり3.58人と前週（3.79）より患者報告数はやや減少し、例年より低いレベルで推移しています。

手足口病発生状況(3年間)

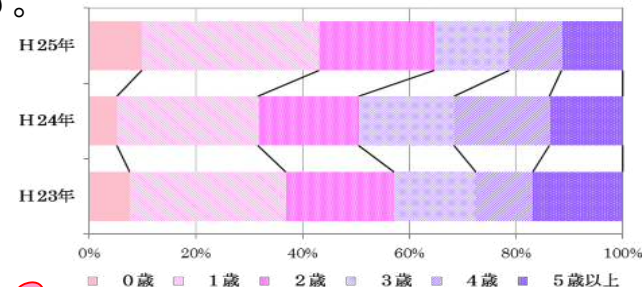


過去2番目に大きな流行～手足口病～

現在「手足口病」が、一昨年に次ぐ高い水準で流行中です。過去最大の流行が見られた平成23年とほぼ同様の発生状況で、現在報告数は毎週増加しています。

年齢別では、5歳以下の乳幼児に多く、2歳以下が全体の半数以上を占めています。

手足口病の年齢別発生状況



～今年の流行の特徴は！？～

手足口病の原因はエンテロウイルスやコクサッキーウイルスなどですが、今年は2年前にも検出された「コクサッキーウイルスA6」という型が多く検出されています。コクサッキーウイルスA6に感染すると、手、足、口以外の部分にも水痘（みずぼうそう）に似た大きな水疱を発症することがあり、治癒後に爪がはがれたり、変形したりするなどの症状が出ることもあります。

手足口病は一般に予後良好な感染症ですが、髄膜炎や脳炎などを引き起こすこともありますので、高熱が続いたり吐き気がある場合は、早めに医療機関を受診してください。

川崎市における月別風しん届出数(平成25年7月21日診断分まで集計)

